

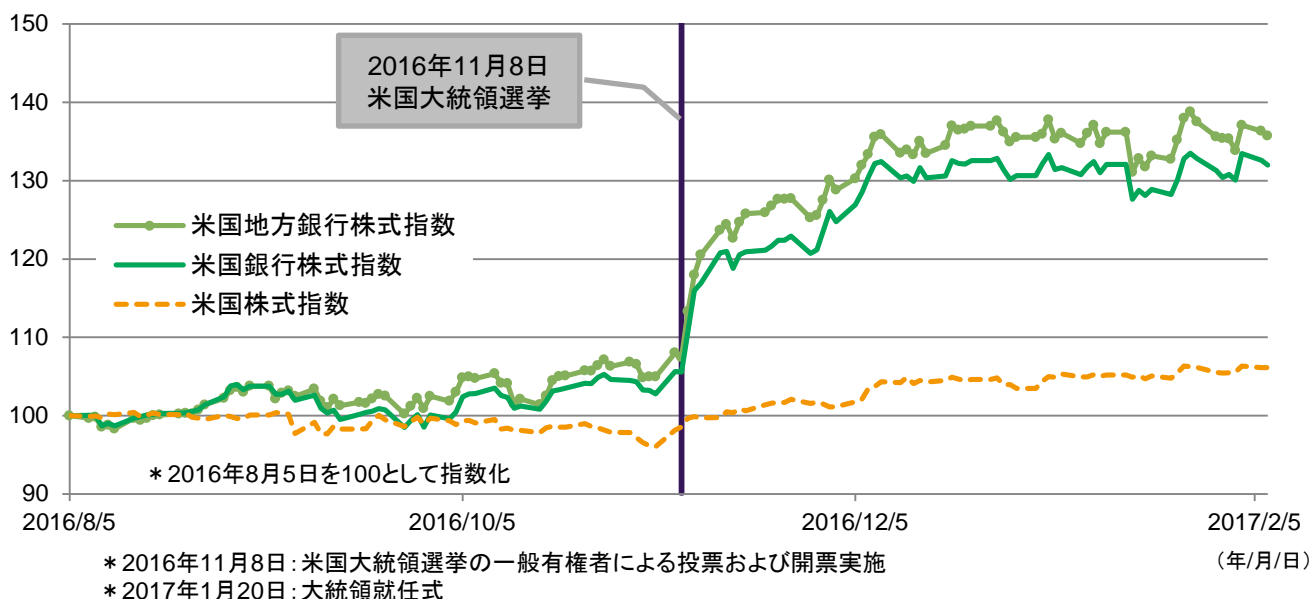
米国銀行株式の動向 ～市場の振り返りと今後の見通し～

米国の中間選挙が2018年11月に予定されています。2016年の大統領選挙の時期の米国銀行株式の動きについて振り返ってみると、2016年11月の大統領選挙後に、金融規制緩和や税制改革期待などから大きな上昇が見られました。11月の中間選挙は接戦が予想されており、注目すべきイベントと考えられます。

2016年の大統領選挙前後の振り返り

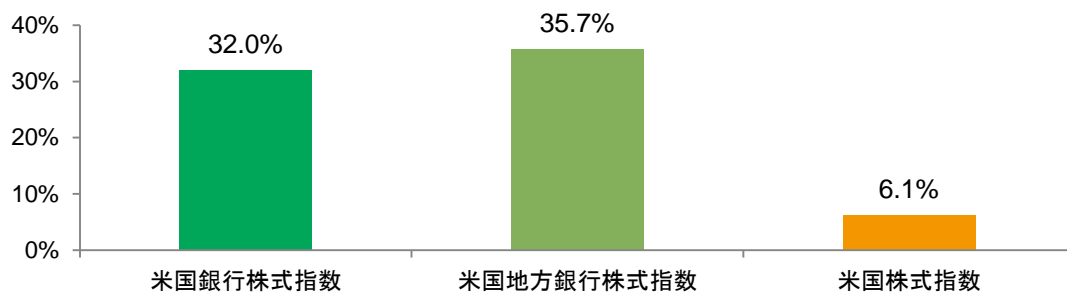
大統領選挙前後約6ヵ月間の主な指数のパフォーマンス推移

(2016年8月5日～2017年2月7日、日次、配当込み、米ドルベース)



大統領選挙前後約6ヵ月間の主な指数の騰落率

(2016年8月5日～2017年2月7日、配当込み、米ドルベース)



※使用した指数については2ページをご参照下さい。

出所: ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成

2018年初来の米国銀行株式の動向および今後の見通し

年初来で上値を抑えた材料

- ・世界的な貿易摩擦懸念
- ・イールドカーブのフラット化懸念
(長短金利差縮小懸念)
- ・銀行貸出、利ざや拡大に対する鈍化懸念

など

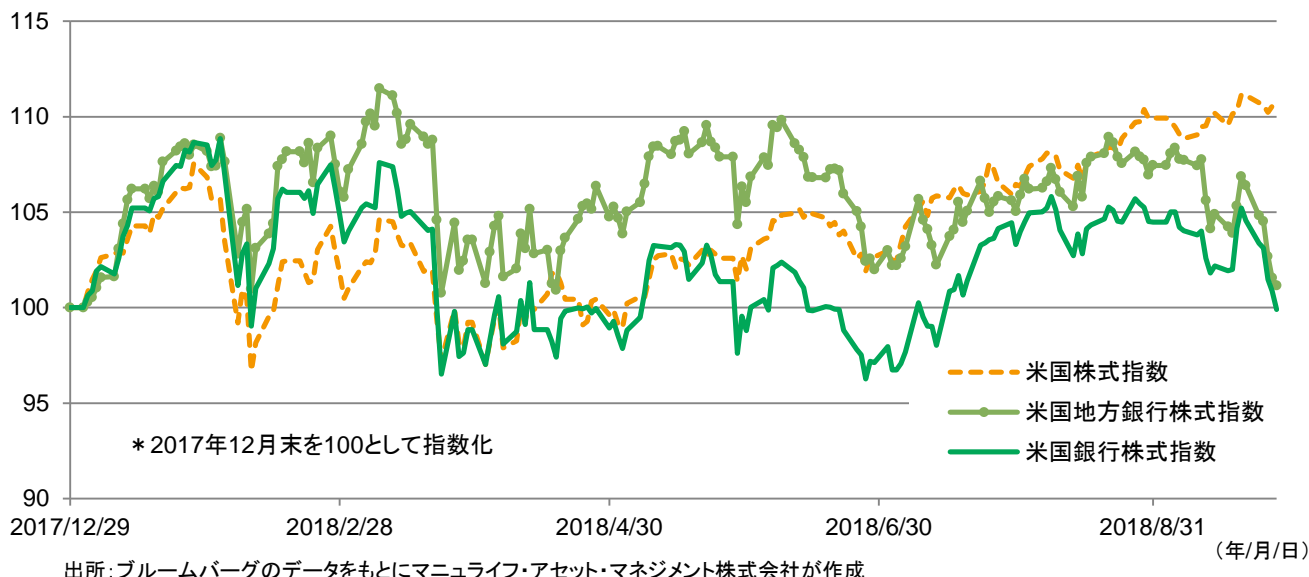
今後のポイント

- ・中間選挙結果を受けた不透明感の払拭
- ・堅調な米国経済成長に伴う貸出増加
- ・継続的な利上げによる利ざや拡大
- ・良好な信用環境
- ・活発なM&A
- ・魅力的なバリュエーション

など

銀行業界を取り巻く環境は依然として良好であり、米国銀行株式について長期的な成長が期待できるとの見方に変更はありません。

2018年初来の主な指数のパフォーマンス (2017年12月末～2018年9月末、日次、配当込み、米ドルベース)



【当資料で使用した指数について】

米国株式指数: S&P500種指数(配当込み、米ドルベース)、米国銀行株式指数: S&P総合1500銀行株指数(配当込み、米ドルベース)、米国地方銀行株式指数: S&P総合1500地方銀行株指数(配当込み、米ドルベース)

【ご留意いただきたい事項】

- 当資料は、マニライフ・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます)が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、特定の投資商品の推奨を目的としたものではありません。
- 当資料記載のデータや見通し等は、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、正確性、適時性を保証するものではありません。
- 当資料の内容およびコメントは資料作成時点における経済・市場環境等について当社の見解を記載したもので当該見解は予告なく変更される場合があり、将来の経済・市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 各指数に関する著作権等の知的財産、その他一切の権利は、各々の開発元または公表元に帰属します。
- 投資信託のお申込みの際は、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)で商品内容をご確認の上、ご自身で投資のご判断をお願いいたします。
- 当資料に関する一切の権利は、引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製はできません。

マニライフ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第433号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会